

平成27年度 倉吉市小・中学生淀屋サミット概要

平成27年5月9日（土）、倉吉市内の児童生徒が倉吉のために自分たちができることを話し合う「倉吉市小・中学生淀屋サミット」を開催しました。

今年度で7回目となる「淀屋サミット」ですが、今年度は5月開催にもどし、前回から実施した各中学校区毎の分散会を行いました。今回は第6回淀屋サミットに参加した高校生2人から激励のメッセージをいただきました。また、県立農業大学校、JA 鳥取中央、国土交通省倉吉河川国道事務所、中部総合事務所の方も参加してくださり、励ましのお言葉をいただきました。

「淀屋サミット」当日の様子をとりまとめましたので、ご紹介します。

1 目的

本市小・中学校の児童生徒代表が、市指定文化財であり倉吉最古の町屋建築である「倉吉淀屋」に一堂に会し、地域のために自分たちができることを話し合うことをとおして、本市に愛着をもつと共にまちづくりに貢献していこうとする態度を養う。

2 期 日 平成27年5月9日（土）13:00～17:00

3 参加者

小学校 児童代表39名
中学校 各校生徒会執行部16名（ビデオ参加2名）
高校生 2名



【講談：記念撮影】

4 講 談

倉吉市の『淀屋の光と蔭』
脇坂幸司氏（「倉吉談語の会」代表）
（場所：豊田家住宅）

5 全体会（前半）

（1）平成21年度からの取り組み経過説明

菜の花プロジェクトを始めることを決めた平成21年度の淀屋サミットの様子から昨年度の取り組みまでを事務局で簡単に説明した。

（2）各学校の取り組み報告（概要）

【平成26年度の宣言文】

すべての小中学校が地域と協力して、

菜の花を地域の笑顔のかけはしに活動

を進めていきます。

- 菜の花俳句大会を開催した。
- 地域の方と一緒に種まき、種とりに取り組んだ。
- 菜の花の種から油をとった。
- 保育園児と一緒に種をまいた。プランターを保育園に飾ってもらった。
- 菜の花を知らせる看板と一緒に菜の花を見られて嬉しかった。
- 土曜授業を活用して全校で種まきをした。
- 菜の花の周りで遊んだり、菜の花を背景に写真を撮ったりした。
- 地域の方や観光客の人に見てもらえるように、道路や公園の入口などにプランターを並べた。



【各校の報告の様子】

- 1人1プランターに種をまき、自分の名札をさして育てた。
- 種に砂を混ぜてまく方法を取り入れた。
- 種を手作り封筒（説明付）に入れ、運動会の時に来賓や地域の方に配布した。
- 入学式で菜の花を飾り新1年生を迎え入れた。
- 祖父母の会や老人クラブ、地域の方に土を耕していただいた。
- あいさつ運動、エコキャップ運動を行った。
- 種まきの後、地域のゴミ拾いをした。
- かぐや姫プロジェクト（竹林の間伐）を実施した。



【各校の報告の様子】

(3) 第6回参加者からのメッセージ

第6回淀屋サミット参加者である高校1年生2人が、自分たちの取り組んできた時の想い、また各学校での取り組みの様子を聞いてメッセージを発表した。

- どんどんプロジェクトが大きくなっていき嬉しく思う。倉吉が菜の花でいっぱい町にしてほしい。
- 堂々と発表している小中学生の姿を見て、自分も高校生として地域に貢献できることを考えたいと思った。
- 今日は皆さんが貴重な体験ができると思うので、しっかりと意見を出して話し合ってもらいたい。
- 清掃活動やあいさつ運動も、地域のつながりを深めるために大事なことであり、これからも続けていってほしい。
- 高校生フォーラムの今年のタイトルは「地域の明日」。私たちも、倉吉の次世代を担う一人として考えていきたい。そして、「倉吉にまた帰ってきたい」と思える町にしたい。



【先輩が後輩にメッセージ】

6 分散会の状況(倉吉淀屋)

【河北中学校区分散会】

〔倉吉をよくするために取り組んだらよいと思うこと〕

〔菜の花プロジェクトについて〕

- 学校だけでなく、種を地域の人にも配り取り組んでもらう。
- 菜種油を配り、菜の花の良さを知ってもらおう。
- 看板を立てアピールする。

〔菜の花プロジェクト以外〕

- あいさつ運動
- 他の花も咲かせる。緑も増やす。
- ゴミ拾い
- エコキャップ運動
- ネパールへの募金
- さけの放流



【河北中学校区意見交換】

【久米中学校区分散会】

〔倉吉をよくするために取り組んだらよいと思うこと〕

〔菜の花プロジェクトについて〕

- 地域の方への種配り
- 全校で水やり
- 菜の花を植える場所のゴミ拾い（他の場所も）



【久米中学校区意見交換】

[菜の花プロジェクト以外]

- エコキャップ運動
- ベルマーク集め
- 地域の方との交流（地域の方を招いて昔の遊びをする。祭りなどで地域の方と一緒に踊る。弁当をつくる。あいさつ運動を地域の方とする。）

【鴨川中学校区分散会】

[倉吉をよくするために取り組んだらよいと思うこと]

[菜の花プロジェクトについて]

- 地域の方に種を配布する。
- 家に菜の花を持って帰って育てる。
- 施設にプレゼントして育ててもらおう。
- プランターを見える場所に置く。
- 種まきを地域の人に協力してもらおう。
- ポスターをかく。

[菜の花プロジェクト以外]

- あいさつを積極的にする。
- エコキャップ集め
- 運動会で花をプレゼントする。
- クリーン活動（ゴミ拾い）をする。
- 清掃活動（河川敷など）をする。
- リサイクル（トレー、ペットボトル等）をする。



【鴨川中学校区意見交換】

【西中学校区分散会】

[倉吉をよくするために取り組んだらよいと思うこと]

[菜の花プロジェクトについて]

- 地域の人に種を配る。（できれば被災地にも）
- パンフレットやポスターをつかって、菜の花について知ってもらおう。

[菜の花プロジェクト以外]

- 地域のためにできることをする。（清掃など）
- しおりをつくる。
- 老人ホームや保育園の人に種を渡し交流する。



【西中学校区意見交換】

【東中学校区分散会】

[倉吉をよくするために取り組んだらよいと思うこと]

[菜の花プロジェクトについて]

- 菜の花プロジェクトの本当の意味を、地域や学校の生徒に説明する。
- 取り組みが分かるように、学校以外の人目につくところに蒔く。

[菜の花プロジェクト以外]

- 季節の花を植える。木を植える。
- 倉吉の花マップをつくる。
- 他の県にはない日本一をつくる。
- 各学校のマスコットキャラクターをつくる。



【東中学校区意見交換】

〔宣言文の内容の検討〕 ※下記内容に決定

すべての小中学校が地域と協力して、

「つなげよう菜の花で広がる笑顔の輪」活動

を進めていきます。

7 全体会（後半） * 全体会の話し合いで今年度下記のことに取り組むことが決定

【全小中学校で取り組むこと】

※菜の花プロジェクトについて

- ・地域の人に種を配る→まいてもらう
- ・看板を立てて菜の花の良さをアピールする
- ・パンフレットやポスターづくり
- ・地域の方と一緒に菜の花の種をまく
- ・いろいろな施設に種をプレゼントして育ててもらう

※それ以外の取り組みについて

- ・地域のための清掃活動
- ・あいさつ運動
- ・エコキャップ運動
- ・他の花も咲かせる

【各小中学校で取り組んだらよいと思うこと】

(それぞれの学校で検討して取り組む)

- ・菜の花の油をとり、配る
- ・菜の花や他の花のしおりをつくり地域の方へ配る
- ・地域の行事にたくさん参加する（交流）
- ・木を植える
- ・何かの日本一をつくる
- ・学校のマスコットづくり
- ・倉吉のいいところマップ作り
- ・花のマップ作り（どこに咲いているのか）

8 倉吉市小・中学生淀屋サミット宣言



【中学生による宣言】

9 激励メッセージ

■国土交通省倉吉河川国道事務所

今年、皆さんからもらった種から育てた菜の花が事務所の玄関に咲いた。我々も今回皆さんのように種を取り、さらに広げていきたいと思っている。

皆さんの活動で日本一きれいな小鴨川の水が保たれている。今後もきれいな天神川・小鴨川を守ってほしい。また、皆さんが『倉吉が本当の自分たちのふるさとだ』と思えるように今後も活動してほしい。

倉吉市小・中学生淀屋サミット

21世紀を生きる私たちの宣言

私たちが生まれ、そして暮らしているこの倉吉は、この地を愛した多くの人が豊かな歴史を創り、素晴らしい財産がたくさん残るまちです。

このように胸をはって誇れる伝統や文化、自然。その一つであるこの「倉吉淀屋」で、私たちはこの倉吉をさらに愛されるまちにするために、何ができるかについて話し合いました。

私たちはここに宣言します。

- 一 この倉吉のこれからの担うのは、ここに集う私たち小中学生であることを自覚し、自分たちで考え、さまざまな活動を行うことをとおしてまちづくりに取り組んでいきます。
- 一 私たちは、先輩達の思いをもとに話し合った内容を、自分の学校の仲間にとしっかりと“つたえ”、力を合わせながら“ひろげ”、これからのまちづくりに“つなげる”ために取り組んでいきます。
- 一 私たちは、自分たちの住んでいるふるさと「倉吉」を大切に思い、地域の人々とともにこれからのまちづくりに取り組んでいきます。

まずは、今日、この場で話し合ったことをもとに、すべての小・中学校が地域の方と協力して、

つなげよう 菜の花で広がる 笑顔の輪
活動を進めていきます。

平成27年 5月9日

■中部総合事務所地域振興局

今年のGWは、中部の観光客が鳥取県内で一番多かった。ちょうど菜の花がきれいに咲いている季節に観光客の皆さんが来られ、「倉吉はなんてきれいなところなのだろう」と気持ち良く帰られたのではないかと私も何度かそう思った。是非、この取り組みは続けて欲しい。続けることが後輩に繋がっていく。そうすることで皆さんが大人になった時に自慢もできる倉吉になる。

■JA 鳥取中央

全く咲かなかった第1回から7年かかったけれど、先輩の苦勞が皆さんの手によって、花を咲かせるだけではなく倉吉を愛する心が実を結んできたと思っている。今年は4月の寒さもあって、梨やスイカの交配が遅れ不調な部分もあるが、農家の皆さんは一生懸命に作っている。地元の農産物についても少しでも勉強してほしい。このいろいろな発展性を持っているプロジェクトを、これからも後輩に伝えてほしい。

■農業大学校

去年頂いた種が入学式の時期に咲いた。桜と菜の花の黄色が美しかった。今日は皆さんから元気をいただいた。菜の花を見事に咲かせるようになったこともだが、皆さんが自分の考えをまとめて話ができる姿に感心した。全体会や分散会で活発に意見発表している姿が嬉しかった。淀屋サミットの卒業生の激励もグッと胸に来た。この広がりはずっと続けてほしいと思った。今年も皆さんと一緒に頑張っていきたい。

10 児童生徒の感想

【小学生】

- 他の小中学校区での、菜の花プロジェクトでどんなことをしているのか、どんな活動をしているのか分かって良かったです。
- 同じ校区の人と友達になれてよかった。
- いろんな学校の人と交流をしながら倉吉に必要なことを考えて、とっても貴重な経験ができたと思いました。ちゃんと学校の人に知らせたい。
- よりよい倉吉をつくるためには、次世代である小中学生が活動していくことが大事と知りました。私もできるだけ大きな力になりたいです。
- 先輩の思いなどが分かったし、中学生がうまく司会をしていてすごいと思いました。

【中学生】

- まず、高校生2人のお話に感激しました。自分もあんな高校生になりたいです。
- 小学生も進んで意見を言っていてすごいと思った。自分の住んでいる町を大切にしていきたいという想いも出てきた。このサミットを通して、倉吉をもっと賑やかにしていきたいです。
- 中学生よりも小学生の方がたくさん意見を出していて驚きました。そんなみんなと一緒に「笑顔の輪」を広げていきたいです。
- 今日の活動を通して、もっともっと倉吉が有名で暮らしやすく、何年後までもステキな町であれるように努力します。
- 倉吉は歴史ある町ということが更によく分かりました。実際、倉吉に住んでいると、赤瓦などの観光にもなかなか行かないので、改めて「倉吉」という町について知るために町を歩いてみたいと思いました。

第7回となる今回の「淀屋サミット」は、55名の小中学生と第6回参加者である高校生2名の参加で開催されました。高校生の言葉には重みがあり、小中学生の目指す姿としての輝きがありました。前回から分散会は中学校区ごとでの形をとりました。中学生が司会進行をして各校区の話し合いをまとめていく姿は、これからの倉吉のまちを担っていく若者としての力強さを感じました。また全体会では、むしろ小学生の方が自分の意見をしっかりと発表しており逞しさを感じました。中学校区のつながりもより一層強いものになったようになりました。

まいた菜の花の種が、やがて倉吉のまちに咲き誇るように、淀屋サミットに参加した小中学生・高校生の高き志が、それぞれの学校や地域の未来に彩りを添え、お互いの絆を強くしていくことを願っています。